

分類	ご意見・質疑の概要	回答・対応の方向性
まちづくり計画 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況のまとめは、「課題」なのか「期待されること」なのか明確にしたほうが良い。 ● 概要版の土地利用計画図は本編のまちづくり方針図等をまとめたものだが、分かりやすく構成したほうがよい。 ● 西側の顔づくりでは賑わいがなく、東側も同様にならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況のまとめについては、<u>得られた課題と課題を踏まえたまちづくりの「視点」として、再整理</u>する。 ● 概要版と本編の整合を図るため、本編の図面もまちづくり方針図として再整理する。 ● 駅前街区に土地利用計画図にて「望ましい機能」として記載している買物施設や商業施設などの機能が加わるよう、具体化を進めていきたいと考えている。
シノロビング について	<ul style="list-style-type: none"> ● シノロビングの開催場所では集客できる人数が少ないので、<u>倉庫などを開放して、開催場所を広げることができないのか</u>。昨年度の来場者数を教えて欲しい。 ● 今年は篠路で活動されている方々（歴史・文化活動など）を社会実験の場を集めて展開されるということだが、将来的にシノロビングを続けていながら、<u>まちづくり活動が見える化</u>していくと良い。 ● 子どもたちと交流や若い世代を巻き込みが重要。<u>次代を担う若い世代に参加</u>していただき、意見やアイデアを頂戴したい。 ● 篠路の特長でもある自然や文化など地域の方の視点、若い世代の視点で<u>篠路地区に必要なアイデアを出せる場、シノロビングに参加したいと思える場づくりが大切</u>だと思う。日常的にシノロビングを開催していくのであれば、自由に来ていただき<u>意見交換などが出来る場</u>があれば面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シノロビングは、夏祭りのような大規模なイベントではなく、駅前の「<u>日常的な賑わい</u>」を目指して<u>おり、日常的に実施できる規模での開催を検討していきたい</u>。昨年度の最も多い来場が多かった土曜日は約150人程度。 ● 皆様の活動や様々な取組を皆様と一緒にいき、知ってもらうことが、見える化も含めた<u>社会実験としての目的の達成</u>につながると考えている。 ● 令和4年度の社会実験にて、篠路の文化を良く知る篠路歌舞伎保存会の皆さんや<u>実験参加者と今後のまちづくりを語るトークイベントを実施</u>。 ● 令和5年以降の地域主体のまちづくりに向けて意見やアイデアを議論できる会議（場）について検討していく。
まちづくり活動の 今後の展開 について	<p>【組織のあり方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代が自由にアイデアを出せる場と会議を行う場の2体制で動くのもいいのではないか。 ● 「新たな組織が必要」という意見が多かった一方で、<u>急に地元のみで運営することはハードルが高い</u>と感じるため、<u>自走が可能になるまでは、議論や活動を行う際に札幌市が入った方が良い</u>。 ● 将来は「気軽に話し合える場」のほか「地域協議会」の様な地元の方が集まる場が必要であり、<u>まちづくり計画のPDCAサイクルを確認する組織</u>がそれに該当すると思う。 ● 地域で活動している団体も参加してほしい。 <p>【シノロビングの展開について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年以降、シノロビングは実施しない方針か。 ● <u>地域のイベントとして継続した方が良い。地域の方や業者の支援をいただければ、継続することは可能</u>かと思われる。また、それをきっかけに<u>地域の方との交流や意見交換</u>していく。<u>今後は季節や場所を変えながら実施</u>してもよい。 <p>【空間整備等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「公園」と定義してしまうと、実際に利用するにあたり、地域が利用し難い規制が発生する。<u>キッチンカーを入れるなど、地域が活動しやすい空間にして欲しい</u>。 ● 交通機関を充実させないと人が集まらないと思う。 ● 鉄道高架について、駅の規模や高架下の遊休スペース活用、道路の東西接続状況などを確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (第5回地域協議会の議題提案) ● (") ● (") ● (") ● 地域主体の活動に向けて実施の形は変わっていくが令和5年以降も<u>継続できるようにしたい</u>と思っている。 ● (第5回地域協議会の議題提案) ● 空間の定義については今後の議論が必要だが、<u>地域が自由に使えるものを目指したい</u>。 ● 今後のまちづくりを通じて人が集うようになり、需要が生まれてくれば、交通機関も充実していく可能性があると考えている。 ● 今後の活動を通じて、高架下の活動について、色々な可能性や将来性が見えた段階で、色々と検討・協議させてもらいたい。

